

第1学年 生活科学習指導案

千葉市立更科小学校

富田分校

指導者 土屋 京子

1 単元名 あきとあそぼう

2 単元について

(1) 学習指導要領から

本単元は、生活科の内容（6）（8）と関わりがあるものである。

身近な自然を利用したり、身近にあるものを使ったりなどして、遊びや遊びに使うものを工夫してつくり、その面白さや自然の不思議さに気づき、みんなで遊びを楽しむことができるようにする。

（生活科各学年の内容（6）より）

ここでは、諸感覚を使って、自然物や身近にあるものを利用し、遊びに使うものを工夫して作る活動を通して、遊びの面白さや自然の不思議さに気付くとともに、みんなで遊ぶ楽しさを味わうことができることを目指している。

本校は、自然豊かで、自然物を利用した作品や遊びをたくさん考えて作ることができる環境にある。夏には、竹を使って七夕飾りを工夫して作ったり、校庭に生えているシロツメクサやクローバーの葉で、飾りを作ったりした。10月に入ってから、落ち葉のお布団を作ったり、木の枝を短く切って遊びを考えたりしてきた。

「あきとあそぼう」について学習するときには、身近にある木の実や松ぼっくりを見つけたりすると同時に、外国の木の実や松ぼっくりも、画像を使って紹介している。

本学級の子供たちは、外国の国名や世界遺産、食べ物、自然等に興味があることから、生活科の内容（6）に関連付けて、国際理解教育としても「世界の遊び」を秋の自然物を使った遊びとして取り入れていきたいと考えた。

自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を行い、身近な人々とかかわることの楽しさがわかり、進んで交流することができるようにする。

（生活科各学年の内容（8）より）

本単元では、秋の自然物や身の回りにあるもの等を使って、遊びを楽しむことを目標とするが、その中で、外国の遊びを取り入れながら、友達とより良いものにするように考えさせた。そして、その楽しさを身近な人々に伝えたい、という児童の姿になっていくことを期待している。

本部会の研修会や学習発表会等で、たくさんのお客さんが来る場を活用し、大勢の先生方や友達と遊ぶことで、進んでたくさんの人と交流していけるようにしていきたい。

(2) 単元の目標

- 身近にあるものを使った活動の面白さに気付き、みんなで遊びを楽しむことができる。(生活科)
- 英語で国名を意欲的に発音し、外国の様子や外国の遊びなどに興味をもって取り組む。

(外国語活動：目標① 外国語を通じて、言語や文化について体験的に理解を深める。)

(3) 単元の評価規準

生活への関心・意欲・態度	活動や体験についての思考・表現	身近な環境や自分についての気付き
身近にあるものを利用して、みんなと一緒に遊ぶ楽しさに気付いている。	日本の遊びや外国の遊びについて調べ、より楽しい遊びを考えようとしている。	自分で調べた遊びから、友達とより面白い遊びを考えることで、遊ぶ楽しさを見出している。

4 本部会の研究課題とのかかわり

研究主題

心の国際化から、共に生きる社会へ
～国際性豊かな児童生徒の育成を目指して～

平成30年度より改訂される学習指導要領の核となる内容の1つは、「国際性豊かな人材の育成」である。まさに、本部会の研究課題そのものであり、日本の教育の目指すところでもある。

グローバル化の進展の中で、国際共通語といわれている「英語力」の向上は日本の国際人としての将来にとっては極めて重要となってくる。世界中の多言語を理解することが不可能であっても、英語であれば、世界中の人とのコミュニケーションを図るためのツールとして大変便利で重要であることは、どの国も承知していることである。英語は英語の習得にとどまらず、英語をツールとして相手の文化や考え方にも触れることのできる、まさに、バイリンガルにとどまらずバイカルチャーも可能にしていくことができるであろう。

よって、平成30年度改訂の一つに、英語教育に一層力を入れ、東京オリンピックやパラリンピックを迎える2020年を見据えて、児童・生徒の英語による日本文化の発信、国際交流・ボランティア活動などの取り組みの強化、日本人としてのアイデンティティに関する教育の充実など、順次実施できるよう検討している最中である。

また、新しい時代にふさわしい教育である「アクティブラーニング」(課題の発見・解決に向けて主体的・協働的に学ぶ学習)の充実も、今回の改訂でうたわれている。

このことを踏まえ、国際理解教育を行うに当たり、児童生徒が、外国の方と実際に交流するときには、世界共通語といわれている英語を話す力を用いながら、他国の文化や考え方などを理解しあったり歩み寄ったりしていけるように育てたい。

そこで、各国の遊びを体験する前に、本学級の児童が好きな英語を取り入れることで、単元の意欲付けをしていきたい。児童が、「いろいろな国の遊びを体験していきたいな」という興味関心をもつことができるように、以下の視点を設定して検証することとした。

- (1) 児童が興味関心をもっている「英語」を基に学習への意欲付けをする。
- (2) 自国文化や異文化に対しても積極的に理解していこうとする態度の育成。

(1) 児童が興味関心のある「英語」を基に学習への意欲付けをする。

本学級の児童は、英語に大変興味をもっており、各教科の学習中で「先生、それは、英語でどんなふうに発音するのですか」という質問をしてることがある。習い事や学習テキストでも、英語を学んでいるということも影響しているのであろう。

国語学習では、片仮名を学んでいるときに、果物の言い方でもカタカナの発音と英語の発音が違うことに気付いて、「片仮名じゃ外国の人にはわかりませんね」という発言が出る時もあった。特に、「シュークリーム」という片仮名を、「英語で発音して」と聞かれたときに、「クリームパフ」となることを伝えたら、片仮名は英語だけではないということにも気付いたようだ。

世界中にはいろいろな言語があって、それは全部覚えると大変だから、外国の人とお話するときには、英語を覚えておくと、話しやすいということも説明してきた。児童は、世界地図を見ることも大好きで、国名を英語で覚えようともしている。それは、英語が世界の人と話せる手段であることを、自分なりに理解しているからであろう。

各国の国名を英語で発音する言い方を覚え、身近な自然物を使いながら、外国の遊びも体験していくことで、生活科の「遊びや遊びに使うものを工夫して作り」という内容を達成していきたいと考える。

低学年において、生活科などの教科等で英語の国名を意欲的に発音し、外国の様子や外国の遊びなどに興味をもつことで、中学年、高学年の外国語活動へと繋げていくことを、本部会の研究の視点の一つとしていきたい。

外国の遊びは、ロシアの「ガラッキー」、イギリスの「ダーツ」、オランダの「フィーエルヤッペン」、フランスの「ペタンク」、ドイツの「ケーゲルン」等の遊びを中心に楽しむ。「ガラッキー」や「フィーエルヤッペン」は、近くの木を裁断したものを使い、「ペタンク」は、松ぼっくりや栗等を使う。また、ボーリングに似たドイツの「ケーゲルン」は、ペットボトルやドングリ等を使うなど、児童が自然物や身近なものを選んで遊びを楽しめるようにしていきたい。

(2) 自国文化や異文化に対しても積極的に理解していこうとする態度の育成。

本單元における「自国文化や異文化に対しても積極的に理解していこうとする態度」とは、児童に遊び方や遊びで使うものを教えるというような受動的な学習ではなく、身の回りの道具や自然物を自分で選んで、遊びを考える能動的な学習（アクティブラーニング）として考える。

本校の児童は、児童数が少なく目も行き届きやすいので、教師は児童にきめ細かな指導やアイデアをたくさん提供していくことが可能である。しかし、その反面、児童は大人を頼ってしまい、どうしても受け身の学びとなりがちであることは、本校の研究でも課題となっている。

児童が、大人の目を気にしたり大人の手を借りたりせずに主体的な学びができるように支援していく形をとっていきたいということが、教師側の願いでもある。

そこで、本時は、展開4において、今まで学習してきた外国の遊びをもとに、自分なりの遊び方をその場で考えて説明する、という形をとっていきたい。説明の仕方を何度も練習して、それを発

表するだけでなく、「自分が今まで体験してきた外国の遊びから、工夫した遊びを考えて、友達と協働して活動する」ということを通して、自分から考え工夫する力も身に付けられるのではないだろうか。

国際理解教育においては、児童の能動的な学びを取り入れやすいと考える。本単元で、他の国の遊びを初めて知り、それを知識として吸収し、さらに自分の学びに変えていくことを通して、自国文化や異文化に対しても、積極的に理解をしていこうとする力を身に付けるスタート地点に立つことができるのではないかと考える。

本単元の生活科の学習を通して、友達と協働的に身近な自然物を使った遊びを、主体的に考えたり体験したりすることで、自分の発表に自信をもって取り組めるようにしていきたい。

5 児童の実態（省略）

6 学習の流れ

主な活動と内容

あきとあそぼう (8)

小単元の評価基準

- ◎身近にあるものや秋の落ち葉や木の実などを使って、楽しく活動しようとしている。
(関心・意欲・態度)
- ◎秋の自然物を使った遊びを、友達と一緒に工夫している。(思考・表現)
- ◎友達や自分が考えた遊びの良いところを見つけている。(気付き)

- 校庭や地域の秋を見つけよう。(2)
- 見つけた秋で、遊びを考えよう。(4)
- 芋のつるで、リースを作ろう。(2)

【留意点】

- ・遊びを考えるときには、外国の遊びを取り入れる。
- ・自分の好きな国について本や画像を見て、友達や身の周りの人に、紹介できるように支援する。
- ・秋の自然物を使って、楽しく遊びを考えるように、秋の木の実等にも興味関心をもてるような支援をする。

あきのあそびをしらせよう (10)

小単元の評価基準

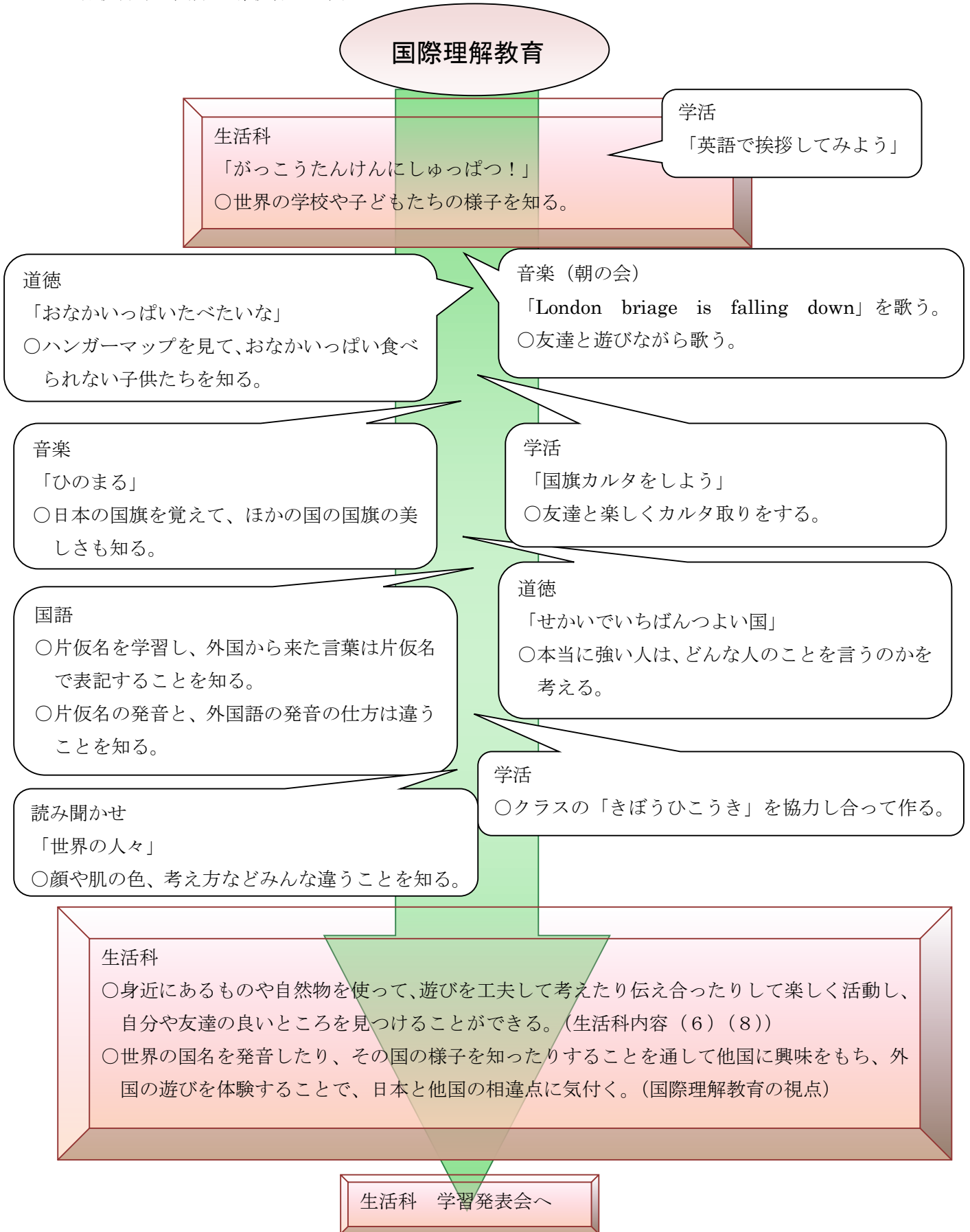
- ◎友達やおうちの人に、身近にあるものや自然物を使った遊び等について、進んで伝えようとしている。(関心・意欲・態度)
- ◎身近にあるものや秋の落ち葉や木の実などを使って、外国の遊びを工夫したり、遊び方を友達や身の回りの人に伝えたりしている。(思考・表現)
- ◎友達と協力して活動し、自分や友達の良いところに気付いている。(気付き)

- 秋の自然物の遊び方をどのように伝えるかを話し合おう。(1)
- 遊び方を紹介できるようにさらに調べたり作成したりしよう。(3)
- 調べた内容をまとめたり遊び方の説明の仕方などを考えたりしよう。(3)
- 秋の自然物を使った遊びを紹介し、紹介した遊びを体験しよう。(1)
- 学習発表会をしよう。(1)
- 学習の振り返りをしよう。(1)

【留意点】

- ・秋の遊びを考えるときには、外国の遊びを取り入れる。
- ・自分の好きな国について本や画像を見て、友達や身近な人に、紹介できるように支援する。
- ・秋の自然物を使って、楽しく遊びを考えるように、秋の木の実等にも興味関心をもてるような支援をする。

7 各教科等と国際理解教育との関連



国際理解教育

生活科

「がっこうたんけんにしゅっぱつ！」
○世界の学校や子どもたちの様子をを知る。

学活

「英語で挨拶してみよう」

道徳

「おなかいっぱいいたべたいな」
○ハンガーマップを見て、おなかいっぱい食べられない子供たちを知る。

音楽（朝の会）

「London briage is falling down」を歌う。
○友達と遊びながら歌う。

音楽

「ひのまる」
○日本の国旗を覚えて、ほかの国の国旗の美しさも知る。

学活

「国旗カルタをしよう」
○友達と楽しくカルタ取りをする。

国語

○片仮名を学習し、外国から来た言葉は片仮名で表記することを知る。
○片仮名の発音と、外国語の発音の仕方は違うことを知る。

道徳

「せかいでいちばんつよい国」
○本当に強い人は、どんな人のことを言うのかを考える。

読み聞かせ

「世界の人々」
○顔や肌の色、考え方などみんな違うことを知る。

学活

○クラスの「きぼうひこうき」を協力し合って作る。

生活科

○身近にあるものや自然物を使って、遊びを工夫して考えたり伝え合ったりして楽しく活動し、自分や友達の良いところを見つけることができる。(生活科内容(6)(8))
○世界の国名を発音したり、その国の様子を知ったりすることを通して他国に興味をもち、外国の遊びを体験することで、日本と他国の相違点に気付く。(国際理解教育の視点)

生活科 学習発表会へ

指導計画

		学習活動	教師の支援
あ き と あ そ ぼ う 8	1	◎校庭や地域の秋を見つける。	○校庭で見つけた秋の自然物は、どんな木や植物の実なのかを考えさせる。 ○秋の自然物を生かして、どんな遊びができるか考えたり試したりさせる。
	2		
	3	◎秋の自然物で、遊びを考える。	○ボーリングやダーツなどの意見が出やすいことを予想し、もともとどこの国の遊びかを伝えて学習の意欲を高める。 ○秋の自然物を使って、外国の遊びの道具を作り、遊びを体験する。
	4		
	5		
	6		
	7	◎芋のつるで、リース作りをする。	○外国で使われているクリスマスの飾りについて触れる。
8			
あ き の あ そ び を し ら せ よ う 10	1	◎秋の自然物の遊び方をどのように伝えるかを話し合う。	○遊び方を、わかりやすく説明する方法を話し合う時に、今まで経験してきた「ペープサート」「プレゼン」「ミニ劇」等の意見が出るような発問をする。
	2	◎自分が選んだ遊びを紹介できるように、	○その国の様子や国旗、世界遺産等にも触れさせる。
	3	さらに調べたり作成したりする。	
	4		
	5	◎調べた内容をまとめたり、遊び方の説明	○遊び方の説明は、友達や発表を見に来る先生方がわかりやすく聞けるような内容を考えられるように、「はじめに」「つぎに」などを使って文を考えるよう助言する。 ○遊び方をわかりやすく伝えることができるように、遊びの流れ、遊びに使う道具などに分けたり具体物を用いたりして説明するよう助言する。
	6	の仕方などを考えたりする。	
	7		
	8	◎秋の自然物を使った遊びを紹介し合い、それらの遊びを体験する。	○自分たちで発表の練習をしてきた内容の遊びだけでなく、他の遊びについてもその場で説明できるように、今まで習ってきた説明の仕方を参考に発表させる。 ○各国の遊びを説明するときには、大きな声で、ゆっくりと話し、聞き手のみんなを意識して説明するように助言する。
	9	◎学習発表会	○みんなに、遊び方や発祥の地についてわかりやすく説明できるように前時を想起させる。
	10	◎学習の振り返りをする。	

8 本時の指導

(1) 本時の目標

- 身近にあるものや自然物を使った遊びを工夫して考えたり、伝え合ったりして楽しく活動し、自分や友達の良いところを見つけることができる。(生活科内容(6)(8))
- 世界の国名を発音したり、その国の様子を知ったりすることを通して、他国に興味をもち、外国の遊びを体験することで、日本と他国の相違点に気付く。(国際理解教育の視点)

時配	学習活動と内容	教師の支援(○)と評価(☆)	教具
1	1 挨拶をする。 C: 「I'm good/fine/happy」	○元気よく挨拶をし、積極的に学習しようとする雰囲気を高める。 T: 「How are you?」	
3	2 世界地図を見て、たくさんの国を旅行する。(ロシア、イギリス、フランス、ドイツ、オランダ) ・建物が日本と違うな ・遊びを楽しそうにやっているな、ぼくたちと同じだな。 ・いろいろな国に行ってみたいな。 C: 「(I want to go to) UK」	(視点: 1 国際理解教育・外国語活動) ○世界を旅する時には、たくさんの言語があることに気付かせ、その中でも世界共通語は英語であることに触れる。 ○5カ国の国名を英語で答えられるように、英語の質問に対する答えの仕方を、ゆっくりと発音して模倣できるように練習させる。 ○自分が調べた国以外で、どの国に行きたいかを考えさせながら、子供たちが遊んでいる様子の画像を見せることで、生活科の遊びと結びつけやすくする。 T: 「Where do you want to go?」 ○質問は教師が発音する。答えるときに、「I want to go to」が言いづらかったら、国名だけ言えるよう助言する。	巨大世界地図 PC フラッシュカード 希望飛行機
あきのしぜんをつかったがいこくのあそびをしようかいしよう。			
10	3 自分が選んだ国の遊びを紹介しあい、実際に体験する。 ・ロシアについて ・イギリスについて <div style="border: 2px solid orange; border-radius: 15px; padding: 10px; display: inline-block; margin-top: 10px;">紹介の内容① 国の様子 (景色、食べ物、学校や子どもたちの様子など)</div>	○各国の遊びを説明するときには、大きな声で、ゆっくりと話し、聞き手のみんなを意識して説明するように助言する。 ○自分たちが見つけてきた秋の自然物を使いながら、遊び方を友達にわかりやすく伝えることができるように、遊びの名前、使う道具、遊び方の流れなどに分けて説明できるように掲示しておく。 ☆日本と外国の相違点について気付いているか。 【国際理解教育：異文化理解】	巨大世界地図 秋の自然物 おなもみくり まつぼっくり どんぐり

<p>30</p> <p>40</p> <p>45</p>	<p>紹介の内容② 遊び方について (秋の自然物を使って)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達の発表がすごいな。 ・他の国の様子は日本と違う。 ・世界の遊び、面白いな。 <p>4 お客さんに紹介してみたい世界中のどこにもない遊びを紹介する。</p> <p>5 友達の遊びを体験して、楽しかったことや気付いたことなどを発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・秋の自然で友達や先生方と一緒に遊べて楽しかった。 ・外国の様子を初めて知って、日本と違うなと思った。 ・外国の遊びを、秋の自然で遊んだり友達と協力して遊んだりしてよかった。 	<p>○友達の発表の良いところを見付けながら遊ぶようアドバイスする。</p> <p>○友達が発表するときには、準備等で協働的に作業できるように伝える。</p> <p>○説明の仕方を悩んでいる児童がいた場合は、友達同士で、助け合えるよう助言する。</p> <p>(視点：2 アクティブラーニング)</p> <p>○今まで経験してきた外国の遊びをもとに、工夫した遊びを紹介するように支援する。</p> <p>○自分が紹介してみたい遊びを考えさせて、今まで経験してきた遊びの中から紹介してもよいことを助言する。</p> <p>○遊びを選ぶことに困難なようであれば、松ぼっくりや栗などをボールのようにして使った遊びを中心に探すといいことを助言する。</p> <p>○「学習活動と内容3」と同じ方法で説明するということを伝える。</p> <p>○友達が調べた外国の遊びで、工夫したところを伝えながら、友達の頑張りに気付きやすくさせる。</p> <p>☆友達と意見を交流し、自分や友達の良いところに気付いている。【生活科：気付き】(発表)</p> <p>○次の活動では、本校の友達と一緒に遊んだり、学習発表会で、発表したりしていくことを確認し、意欲化を図る。</p>	<p>秋の自然物 おなもみくり まつぼっくり どんぐり</p>
-------------------------------	--	---	---

- 紹介の内容②の掲示物
1. あそびの名まえ
 2. つかうどうぐ
 3. あそびかたについてのせつめい
 4. てんすうのとりかた

- 紹介の内容②の掲示物 (例)
- あそびの名まえ…ドイツのケーゲルン (ポーリングにしている)
- つかうどうぐ…ドングリの入ったペットボトル7本、なげる木1本
- あそびかた…①ピンをたてたいくにをえらぶ
- ②えらんだくにから、まつぼっくりをなげる
- ③まつぼっくりがおちたくにから、木をピンになげる